

「チームくすのき」オンライン研修

— 青山鉄兵先生とZoomで —

新型コロナウイルス禍で、オンラインの活用が普及していますが、「オンラインなんて」と苦手意識のある人も多いのではないのでしょうか。だからと言って、みんなで集まる研修ができないというのも困りもの。ということで、「くすのき」でも、オンライン研修にトライしてみることに。事前に3回ほど「Zoom」練習日を設けたうえで、3月18日(木) 10時から12時まで、文教大学准教授の青山鉄兵先生を講師に、Zoomで、「話しやすい場づくり～ファシリテーション技法を学びましょう～」をテーマに、研修会を実施しました。11名の参加で、くすのきプラザの会場と自宅組に分かれて、グループワークなども交えながら、楽しく行われました。気さくな青山先生のキャラクターもあり、あっという間の2時間でした。



←左はくすのきプラザ会場

右はホストの米田さん→



研修内容については、次の「私の講義メモを一部公開」を参考にしてください。

私の講義メモを一部公開



- ①ファシリテーションをする時によく使う手法～アイスブレイク、模造紙に付箋を貼るなど～いろいろな手法があると思いますが、大切なのは、「何をするか」ではなく「何のためにするか」で。例えば、アイスブレイクも何のためにするのかを考えてしないと、かえって場を凍らせてしまうこともあるんですね、という話も。
- ②ワークショップは生き物で、その時その時でどのような経過をたどるかわからない。大切なのはその結果よりも経過（プロセス）。ワークショップの中で、どんなことが起きたかが大切。予想外の展開もありえて、「ええ～」ということもあるけど、ある意味でのあきらめと開き直りもあり。
- ③「場づくり」で大切なものは、「楽しさ」と「安心」。そういった場が保障されたワークショップであって初めて、自律的な学びがあるのかな。



広島県の「親プロ」新教材を紹介

令和2年度新しい教材ができました。

No.26 「スマホ！ウチではどうする？～考えてみて、我が家流のつきあい方～」対象：小学生～高校生及びその親

No.26-2 「スマホ時代の子供たち～身につけたいスマホリテラシー～」対象：小学生～高校生及びその親

ミニ-2 「デジタル時代の子育て～スマホの使い方みんなどうしてる？」対象：0～2歳児の親



新年度をむかえて

今年の桜の開花宣言ですが、広島が1番のりでしたね。ちょっとびっくりしてしまいましたが、開花宣言後桜が満開となるまで、しばらく時間がかかり、ゆっくり桜を楽しめたのではないのでしょうか。

一方で、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、最初の緊急事態宣言が出されてから4月



7日でちょうど1年。もう1年も経ったのかと思わずつぶやいてしまいました。こうしたなかで、今まで見えていなかった新しい貧困の実態（例えば、いわゆる「生理の貧困」）がみえてきたりしていますね。また、10歳以下の子どもは新型コロナウイルス感染症にかかりにくいこと、かかっても重症化しにくいことも、今までの研究でわかってきているようです。「子どもには、感染の恐怖を植え付けるのではなく、のびのびと行動させてあげてください」と、お医者さんの言うことも、最もだと思うのですが。

さて、今年度も新型コロナウイルス感染症のもと、いろんな活動が制限されるとは思いますが、悩んでいる人や困っている家庭の状況は待ってられません。何ができるかなと知恵を出し合いながら活動していけたらいいですね。

今後の活動予定

4/17 カフェくすのき

4/28 バンビース親子の見守り

5/15 カフェくすのき

6/19 カフェくすのき



ほっと一息 コラム

世界中で新型コロナウイルスが発生し1年余り、マスク・予防対策が必須の毎日が続いています。発生以来、新型コロナウイルスに対応されている医療従事者のみなさまには感謝の気持ちでいっぱいです。コロナ発生以来、これまで当たり前とっていたことが当たり前ではなくなり、今まで当たり前とっていた日常がどれだけ有難い事だったのか、日々感謝することを忘れていました。そんな時、詩人・宮澤章二さんの『行為の意味』という詩を読み直す機会がありました。

『行為の意味』 宮澤章二

あなたの心はどんな形ですかと
人に聞かれても答えようがない
自分にも 他人にも心は見えない
けれどほんとうに見えないのであろうか
確かに心はだれにも見えないけれど
心づかいは見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから
同じように胸の中の思いは見えないけれど
思いやりは見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから
あたたかい心があたたかい行為になり
やさしい思いがやさしい行為になるとき
「心」も「思い」も、初めて美しく生きる
それは 人が人として生きることだ

人が持つ「思いやりの心」がどれほど大切かを知ることができます。感染リスクは誰にでもあります。どんなに感染予防をしてもどうなるかわかりません。こんな時だからこそ胸に刻むとともに、その思いを形にしていくことが大切なのだと思います。あたたかい心があたたかい行為につながり、優しい思いが優しい行為となるように。(W)

